

○ 芽室の意外な特産物で、秋の新メニュー試作中

数年前から芽室町内で落花生の栽培が始まっているのをご存知でしょうか。どれくらい知られているもの



落花生って地中になるの！と、初めて知ったときは驚きました。

か、私の周辺に聞き取り調査を行ったところ「聞いたことがある」「知らなかった」との回答がそれぞれ50%となりました（調査数2名）。今後はさらに多くの人に知ってもらいたいとの趣旨で、この秋に町内の飲食店でピーナツを使った新メニューを提供する「めむろピーナツフェス」が開催されます。当園にもお声がかかり気軽に引き受けたものの、そう簡単に「にじます×ピーナツ」の一品が思いつかず頭を悩ませております。いっそエサに混ぜて「ピーナツにじます」を育成しようかとも考えましたが、一年ぐらいかかりそうなので断念しました。ピーナツといっても粒だけではなくペーストやパウダー状のものもあり、他のお店はどんなものを作るのか気になるところです。皆様からのリーク情報、お待ちしております。

○ サボテン母さんは子たくさん、テツおばあちゃんも子たくさん(男ばかり6人)

当園庭のハウスで育つ大小さまざまなサボテン、見た目の派手さからつい花にばかり注目してしましますが、春から夏にかけての花をつける時期が過ぎ、現在は繁殖の季節を迎えています。花が咲くということは、その後実を付けて種ができるわけですが、ほとんどのサボテンは種ではなく株分けで増えていきます。写真にあるように、サボテンの幹(?)からポコポコと飛び出す子サボテンを切り取って地面に植えると、割と簡単に根が出て新しい株が育っていくのです。今では3mを超える長さに育ったものや郵便ポストぐらいの大きさになったものもあるサボテンですが、始まりは50年以上前に私の祖母であるテツおばあちゃんが愛知から買い付けてきた小さなサボテンでした。寝台列車もない時代、夜行列車に大きな風呂敷包みを抱えた女性がひとり。車掌さんは「荷物預かりますよ」と声をかけたそうですが、おばあちゃんは申し出を断り、ずっと抱えて列車に乗ってきたと聞いています。



こちらのサボテンはかなり子たくさん、種ではないので兄弟というのが正しいかも。

○ 押し入れにドラえもん、机の引き出しは...

9月3日が何の日か、すぐに言い当てられる方はかなりのドラえもんマニア。正解はドラえもんの誕生日です。正確には2112年の...なんて言い出しては、私はいつも家族に白い目で見られております。そ



我が家のドラえもん、後ろで寝ているのはのび太、ではありません。

れにしても小学生時代に親しんだ漫画が今だに現役で、自分の子どもが見るようになるうとは、想像もしていませんでした。以前子どもの通う小学校の広報誌で先生方の紹介欄があったとき、質問の一つに「欲しいドラえもんのひみつ道具は？」というものがありました。その中で印象的だったのが校長先生の「お天気ボックス」。天気をコントロールできる道具なのですが、行事のたびに天気に気をもむ切実な思いが伝わってくるのと同時に、こんなマイナーな道具を挙げるなんてかなりのマニアでは、と親近感を覚えた記憶があります。